

令和4年度 いわての物産展等実行委員会事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和もあり、予定していた物産展等のイベントを各地で開催することができたほか、消費者が自宅にしながら、本県が誇る農林水産物や加工食品、工芸品の魅力に触れていただく機会を創出するオンラインストアでの販売支援も行い、県産品のPRと販売促進を行った。

また、工芸品の新たな販路開拓に向けた事業にも取り組むなど、関係機関等とも連携を図り、県産品の品質向上や販路拡大に向けた各種事業を実施した。

1 物産販路拡大開拓事業

(1) 物産展

ア 「いわてマルシェ2022（川徳展）」

県内各地からこれまでで最大の59事業者が出展し、各事業者選りすぐりの食品や工芸品など自慢の逸品を販売した。

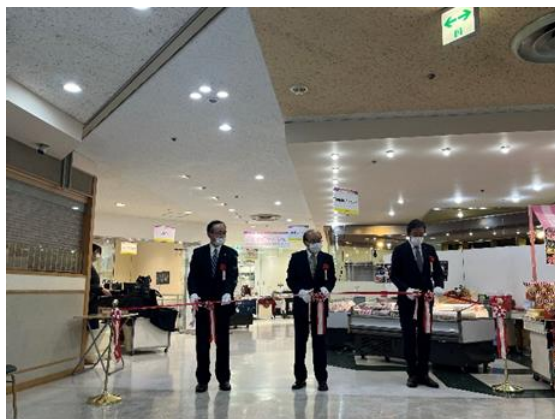
新規事業者も23社出展したが、通常馴染みのない商品も、お客様に直接説明しての販売が行われ、会期中を通して多くのお客様で会場は賑わった。

[会期] 令和4年5月26日～30日（5日間）

[場所] パルクアベニュー・カワトク（盛岡市）

[出展者数] 59社（食品38社、工芸21社）

[売上額] 20,554千円（前回比110.9%）



イ 「第3回岩手県の観光と物産展（名鉄展）」

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、2年ぶりに中部地区での物産展の開催となった。岩手が誇る名産品や人気商品を取り揃えたほか、新規事業者も13社出展し、本県の魅力を五感の全てで楽しんでもいただける催しとなった。

初日は、来場者プレゼントとして先着300名にブランド米「金色の風300g」の配布を行い、集客を図ることができた。

[会期] 令和4年8月31日～9月5日（6日間）

[場所] 名鉄百貨店本店（名古屋市）

[出展者数] 52社（食品40社、工芸12社）

[売上額] 49,437千円（前回比104.8%）



ウ 「第51回大いわて展（日本橋高島屋展）」

百貨店側からの要請により、昨年、一昨年に続き13日間会期での開催となった。

今回は、日本橋高島屋開店90年の記念開催として、90年記念にふさわしい特別弁当の企画のほか、本県の魅力を漫画で発信する、「いわてマンガプロジェクト」のパネル展示や、岩手ゆかりの漫画家によるイラスト色紙の展示など、物産展を盛り上げる企画を実施した。

[会 期] 令和5年3月1日～13日（13日間）

[場 所] 日本橋高島屋（東京都中央区）

[出展者数] 58社（食品50社、工芸8社）

[売 上 額] 98,191千円（前回比109.6%）



エ バイヤー招請事業

県内事業者の販路開拓を促進するため、名鉄百貨店及び日本橋高島屋のバイヤーを招請し、県内事業者とのマッチングに取り組むとともに、各物産展に出展する事業者との個別商談を実施した。

① 名鉄百貨店バイヤー来県

[実 施 日] 令和4年6月28日～29日、7月27日～28日

[訪 問 先] 安俱里まほら岩手、栗駒茶屋（イーハトーブ東北）、流工房（TACT 興業）、
ゑん工房

② 日本橋高島屋バイヤー来県

[実 施 日] 令和4年12月13日～14日、令和5年2月2日～3日

[訪 問 先] 浄土ヶ浜パークホテル、ベアレン醸造所、トレジオン、K.S.P、
福田パン、前沢牛オガタ、回進堂

(2) 販売会「いわて産直市（JR上野駅）」

例年3月の開催予定としていたが、スケジュールが延期となり令和4年度の開催は中止となった。

(3) 商談会「いわて食の大商談会 2022」

県内食品関連事業者の商品力向上や販路開拓を促進するため、県内外事業者との商談機会となる「いわて食の大商談会」を岩手県・金融機関等と連携し、盛岡市で開催した。対面での商談会開催ということで、試食を交えながらバイヤーとの積極的な商談シーンが見られ、来場したバイヤー及び出展者の満足度も高い結果となった。

[開催日] 令和4年6月13日

[場所] ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング（盛岡市）

[出展者数] 90社

[来場バイヤー数] 176社386名

[実績] 取引件数：137件 総成約額：45,300千円



(4) オンラインストア販売

コロナ禍における新しい生活様式に対応し、県産品の更なる販売促進を図るため、「買うなら岩手のものバーチャル物産展」においてクーポンを発行し、販売促進キャンペーンを実施した。

[実施期間] 令和5年3月6日～26日

[クーポン発行枚数] 500枚（2,000円引きクーポン）

[事業者数] 37社

[売上額] 1,389千円

(5) 工芸品販路開拓

県内で生産された工芸品の展示即売を通じて広く紹介宣伝するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、他県での販売機会が減少している工芸品製造事業者の支援を目的として、岩手県及び岩手県産株式会社とともに「いわての手しごと展」を開催した。

[会期] 令和4年10月21日～23日（3日間）

[場所] 盛岡地区勤労者共同福祉センター（矢巾町）

[出展者数] 15社

[売上額] 1,872千円



2 県産品普及向上事業

(1) いわて特産品コンクール

県内事業者が製造する優れた商品の普及や新商品開発の促進等を目的に、「IWATE FOOD&CRAFT AWARD 2022」を開催した。

入賞特典として、グランプリ入賞者の記事広告を北東北エリアマガジン「rakra」に掲載しPRしたほか、「いわて銀河プラザ」での販売イベントを開催し、販売拡大を支援した。

① 審査会

[開催日] 令和4年10月19日

[場所] 岩手県工業技術センター（盛岡市）

[出品数] フード部門 57 品目（35 事業者）、クラフト部門 35 品目（18 事業者）

② 表彰式

[開催日] 令和4年11月22日

[場所] ホテルメトロポリタン盛岡本館（盛岡市）

③ 販売会

[会期] 令和5年2月3日～6日（4日間）

[場所] いわて銀河プラザ（東京都中央区）



(2) 事業者育成支援

県内事業者の新商品開発の機運醸成と、地域産品の商品力・販売力の向上を目的に、事業者がとりまく課題や対策の好事例について情報交換し、交流する場として、「IWATE FOOD&CRAFT 事業者連携交流会」を開催した。

[開催日] 令和4年11月22日

[場所] ホテルメトロポリタン盛岡本館（盛岡市）

[参加者] 58名

[セミナー] テーマ：地域の事業者との交流促進による新たな価値の創出

講師：manorda いわて株式会社 代表取締役 菊地 文彦 氏



(3) 市町村産業まつり等への助成

地場産業の活性化を促進するため、市町村が開催する産業まつり、業界団体等が開催する創作展、土産品まつり等に要する経費の一部を助成した。

[助成実績] 29 市町村・2 団体

[助成金額] 1,258,500 円

(4) 県産品愛用運動

県産品の利用促進を目的とした「買うなら岩手のもの運動」を促進するため、岩手県と連携し、小売事業者等への「買うなら岩手のもの運動」ののぼりの配布などを行い、県民へのPR活動を展開した。